



青虫はどうしてキャベツを食べ、レタスを食べないの

幼虫の食べるえさは決まっている

青虫は、モンシロチョウの幼虫です。チョウの幼虫が食べる植物の種類は、チョウの種類によって決まっています、それを食草といいます。

青虫が大好きな食草は、キャベツです。でも、キャベツと同じアブラナ科の仲間の植物なら、たいてい食べます。ですから、コマツナ、アブラナ、ハクサイ、ダイコンの葉なども、あたえてみると食べます。

モンシロチョウに近い仲間の、スジグロシロチョウは、イヌガラシなどの野生のアブラナ科の植物を、食草にしています。

チョウは、において食草を見分ける

レタスは、サラダ菜、チシャと同じキク科の植物で、キク、タンポポ、アザミなどの仲間といえます。これらは、モンシロチョウの食草ではないので、食べないのです。

チョウは、植物のにおいて食草を見分けているようです。成虫のチョウは、いろいろな花のみつや木のしるを吸いますが、卵を産むときは、生まれてくる幼虫が食べる食草を探して、その上や近くに卵を産みます。種類によって、それぞれちがう食草を選ぶことで、同じ食べ物をとりあうことがなく、どの種類のチョウも生きのびていけるのです。

絹をとるカイコは、クワの葉しか食べませんが、最近では、クワの葉のにおいがする、人工飼料で飼育しています。（監修・中山 周平）

